

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和2年12月10日(2020.12.10)

【公開番号】特開2018-171209(P2018-171209A)

【公開日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-043

【出願番号】特願2017-70606(P2017-70606)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月23日(2020.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動口への遊技球の入賞を契機として乱数を取得する乱数取得手段と、

図柄変動の開始条件の成立時に、前記乱数に基づき当りであるかを判定する判定手段と

、

前記判定手段の判定結果に基づいて、前記図柄変動を行い前記判定手段による判定結果を図柄表示装置に表示させる図柄制御手段と、

前記判定手段による判定結果に基づいて複数ある演出の中から現出させる演出を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段によって決定された演出を実行する演出実行手段と、

前記演出実行手段が実行する演出を表示する演出表示装置と、を備える遊技機であって

、

カウントダウンする表示を前記演出表示装置に表示することを可能とし、

前記図柄変動が行われているときに、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示にする場合と、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とすることなく前記カウントダウンする表示を続ける場合があり

、

前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とすることなく前記カウントダウンする表示を続ける場合よりも、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示にする方が前記当りの期待度が高いとされており、

前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示にしたあと、該非表示とされた前記カウントダウンする表示を前記図柄変動が行われているときに再表示させることを可能とし、

前記複数ある演出のうちの特別演出は、前記当りの期待度が異なる複数の表示があるなかでいずれかの表示が行われる演出であって、前記カウントダウンする表示が非表示とされてから開始する演出であり、

前記カウントダウンする表示が非表示とされてから開始する前記特別演出は、前記図柄変動を開始してから前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とするまでの時間よりも長い時間行われる演出であり、

前記カウントダウンする表示が非表示とされてから開始する前記特別演出は、前記カウ

ントダウンする表示が非表示とされてから前記特別演出を開始するまでの時間よりも長い時間行われる演出であり、

前記カウントダウンする表示が非表示とされてから開始する前記特別演出が行われる図柄変動よりも前に行われる図柄変動においても前記カウントダウンする表示を前記演出表示装置に表示することを可能とし、前記特別演出が行われる図柄変動よりも前に行われる図柄変動と前記特別演出が行われる図柄変動とに跨ってカウントダウンを可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

従来の遊技機では、遊技盤の遊技領域に発射された遊技球が始動口に入球（以下「始動入賞」ともいう）すると、この始動入賞を契機として大当り抽選を実行し、これに当選すると、遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行する。また、従来の遊技機では、上述した始動入賞を契機とする始動条件の成立後、図柄表示装置において図柄の変動表示を開始し、大当り抽選の結果を示唆する演出を図柄変動とともに実行する。また、従来の遊技機では、期待度の高い演出が実行されるまでのカウント数（例えば、当該演出が実行されるまでの残り時間等）を表示する演出を実行するものがある。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０１３－１９２６２２号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、カウントを表示する演出にはまだまだ工夫を施す余地は残されており、それを期待する遊技者も少なからず存在する。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

そこで、本発明は、カウントを表示する遊技機において、興趣の低下を抑制する遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

所定の始動口への遊技球の入賞を契機として乱数を取得する乱数取得手段と、図柄変動

の開始条件の成立時に、前記乱数に基づき当りであるかを判定する判定手段と、前記判定手段の判定結果に基づいて、前記図柄変動を行い前記判定手段による判定結果を図柄表示装置に表示させる図柄制御手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて複数ある演出の中から現出させる演出を決定する演出決定手段と、前記演出決定手段によって決定された演出を実行する演出実行手段と、前記演出実行手段が実行する演出を表示する演出表示装置と、を備える遊技機であって、カウントダウンする表示を前記演出表示装置に表示することを可能とし、前記図柄変動が行われているときに、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示にする場合と、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とすることなく前記カウントダウンする表示を続ける場合があり、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とすることなく前記カウントダウンする表示を続ける場合よりも、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示にする方が前記当りの期待度が高いとされており、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示にしたあと、該非表示とされた前記カウントダウンする表示を前記図柄変動が行われているときに再表示させることを可能とし、前記複数ある演出のうちの特別演出は、前記当りの期待度が異なる複数の表示があるなかでいずれかの表示が行われる演出であって、前記カウントダウンする表示が非表示とされてから開始する演出であり、前記カウントダウンする表示が非表示とされてから開始する前記特別演出は、前記図柄変動を開始してから前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とするまでの時間よりも長い時間行われる演出であり、前記カウントダウンする表示が非表示とされてから開始する前記特別演出は、前記カウントダウンする表示が非表示とされてから前記特別演出を開始するまでの時間よりも長い時間行われる演出であり、前記カウントダウンする表示が非表示とされてから開始する前記特別演出が行われる図柄変動よりも前に行われる図柄変動においても前記カウントダウンする表示を前記演出表示装置に表示することを可能とし、前記特別演出が行われる図柄変動よりも前に行われる図柄変動と前記特別演出が行われる図柄変動とに跨ってカウントダウンを可能とすることを特徴とする遊技機。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の一態様によれば、遊技興趣の低下を抑制することができる。